

トウシビーの数え方

Q 新築したいので、先日、ユタのヤー(家)に行きました。いきなり、「ネー、あなたの旦那は何年(なにどし)ね？」と聞かれ、「巳年のへびです」と答えたら、「あらん、省略しないでちゃんと答えなさい！」と叱られました。この人は、干支をご存じないのでしょうか？(那覇市・Mさん、30代)

A Mさんのご質問、私もすぐウチアタイします。この「何年ね？」は沖縄のおじいちゃん、おばあちゃんたちのご挨拶代わりなのでしょう。私も、トウシビー

ーとも干支ともいう生まれ年の「申年のサルです」と回答したら、「あらん、メーヤク(前厄)・ナカヤク(中厄)・本厄)・クシヤク(後厄)のことさゝね！」とご指導いただいた経験があります。この点、何が正式なのか、琉球・沖縄のしきたりから模範解答を尋ねてみましょう。

私たちが用いる干支は、本来、単純な12パターンではなく十干十二支(じっかんじゅうにし)といい、正式には、十干(甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸)と十二支(子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥)を組み合わせた合計60パターンで表現されます。干支は略字であり、樹木の

幹と枝の一部を抜粋した干(幹)と支(枝)であることが知られています。幹と枝の文字をよくよく見てください。右側のつくりの部分に、干と支の文字が隠れていますのでし

あろうことを想定し、前後3つを加味する計算方法が由来となっているとのこと

どうやら、沖縄のユタなどの先生は、トウシビーや干支について、語源が樹木であることをご存じのようで、ことあるごとに『子・亥』を樹木の1本の大本に見立て(根・幹・枝・葉は繋がっていますので)、関連づける傾向にあります。

今回のMさんのご質問では、ご主人さまの干支が巳年のへびですから、メーヤク・ナカヤク・クシヤクを学んだ上は、「メーヤクが辰年のタツで、ナカヤクが巳年のへびで、クシヤクが午年のウマです」とお答えできると模範解答ということになります。



イラスト／帰依剛龍

ウグワブトウチ(御願解き)のお米の節約

Q もう嫌になるくらい、お米って高いじゃないですか？今年のウグワンブトウチは、ヒヌカンにお米をお供えしたら、土地にまかないで、家計の経費削減、その日の晩ごはんに食べても大丈夫ですか？(恩納村・Kさん・40代)

永遠のテーマなのかもしれません。

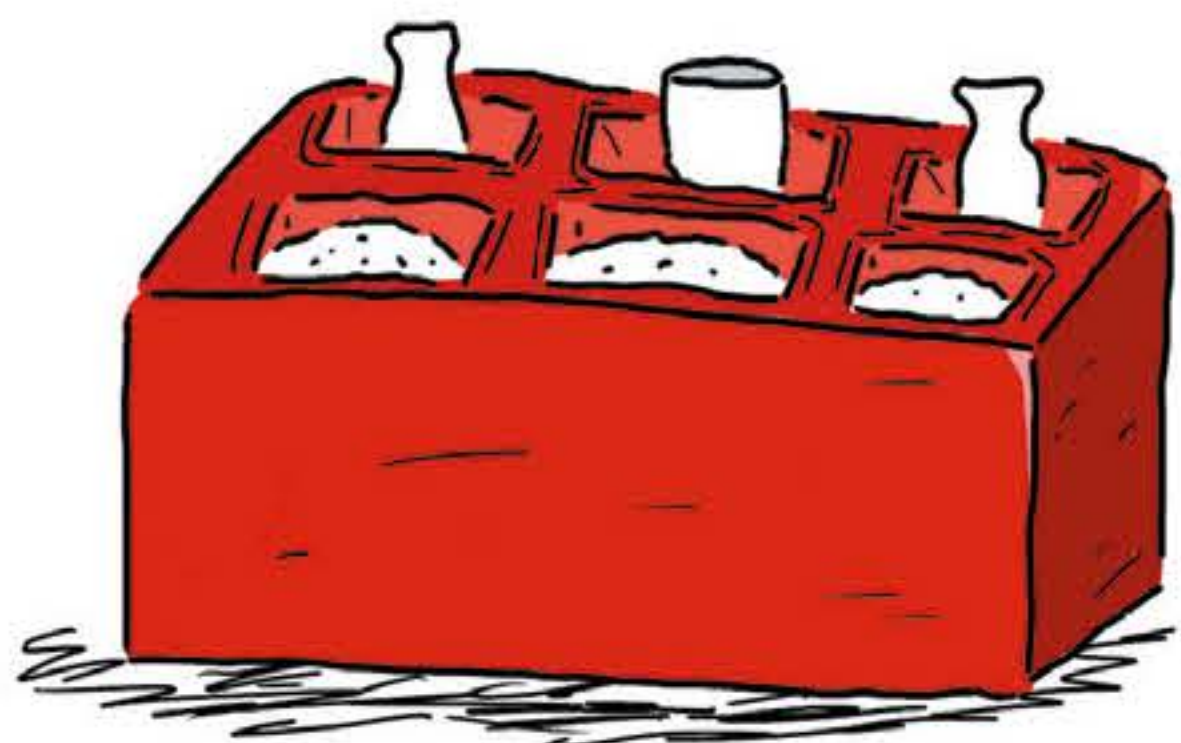
ウグワンブトウチで、マース(塩)・ハナグミ(生米)・アライグミ(洗米)をユスミ(四隅・東西南北の四つ角)の土地にまくのは、単にお清めするだけではなく、お米類は幸せの種まきにもなるのだとか。

家計の経費削減で土地にまかないのであれば、せめてお米の入ったビンシー(瓶水・沖縄祭具)やカリビンシー(仮瓶水・お膳やお盆の中に小皿を準備する仮の沖縄

祭具)をユスミに置き、ティールウサー(合掌)・ウヌフェー(礼拝へらいはい)して、土地にまいたことにされてみてはいかがでしょうか？そのお米を晩ごはんにいただくことは、とてもありがたいことですよ。

沖縄では、チータチ・ジューグニチ(旧暦朔日・十五日)にお供えしたヒヌカンのウブク(御仏供へ山盛りご飯)をウサンデーしていただくことは、チネーヌサカイ(家庭の繁栄)につながるととても重宝されます。

ご存じかも知れませんが、お米は農業を営まれる皆さま



イラスト／帰依剛龍

帰依 龍照(きえ りゅうしゅう)

1968年生まれ、岡山県出身(57歳)／学歴:岡山大学大学院博士課程単位取得・中央仏教学院研究科卒／専門分野:哲学(宗教哲学)／沖縄県宗教研究会・理事長／FMコザ・ラジオパーソナリティ／球陽寺(コザ本願寺)・HP:<https://www.kyuyoji.com>

【球陽寺(コザ本願寺)・YouTubeのご紹介】 副住職・帰依剛龍師が仏教・浄土真宗・『琉球・沖縄学』をYouTubeでわかりやすくご紹介しています。『沖縄のしきたり』の入門編として、ぜひご覧ください。

